

株主メモ

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

証券コード 7856

事業年度 11月1日から翌年10月31日まで

定時株主総会 1月

基準日 定時株主総会 10月31日

期末配当 10月31日

中間配当 4月30日

単元株式数 100株

公告方法 電子公告

当社ホームページアドレス <http://www.hagihara.co.jp/>

※ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

電話 0120-094-777 (通話料無料)

株式のお手続きについてのご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、ご不明な点は口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店におきましてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

<http://www.hagihara.co.jp/>

最新のトピックスをはじめ、当社に関するさまざまな情報がご覧いただけます。



岡山県 後樂園・岡山城

HAGIHARA
HAGIHARA INDUSTRIES INC.

第55期

中間報告書

平成28年11月1日～平成29年4月30日

HAGIHARA
萩原工業株式会社

萩原工業株式会社

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、ここに第55期中間報告書をお届けするにあたり、当社の概況についてご報告申し上げます。

業績全般の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調にはあるものの、先行きの見えない国際情勢の中で、為替の変動等経済環境の変化から目を離せない状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「果敢に挑戦、新たな躍動」を基本方針とする中期経営計画（DH56）の目標達成に向けて、各種施策に取り組んでおります。

その結果、売上高115億71百万円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益15億33百万円（前年同四半期比14.8%増）、経常利益15億58百万円（前年同四半期比20.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億78百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。

合成樹脂加工製品事業

人工芝原糸、基布、粘着テープ基材、フレコン袋・クロス関連、農業用メルトッククロス、ブルーシート製品、海外向けラミクロスが堅調に推移いたしました。一方、コンクリート補強繊維につきましては、トンネル関係は順調に推移したものの、海外向けは低迷が続いております。

インドネシアの子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」におきましては、フレコン袋の増産を目的とした生産性改善により、販売は順調に推移した一方で、インドネシアを含む東南アジア向け紙袋関連、海外向けコンクリート補強繊維の生産調整が続き、収益は低迷いたしました。中国の子会社「青島萩原工業有限公司」におきましては、収益は堅調に推移いたしました。

その結果、売上高87億20百万円（前年同四半期比2.6%減）、営業利益12億13百万円（前年同四半期比7.0%増）となりました。

機械製品事業

主力製品であるスリッター関連機器は、国内向けでは軟包装系汎用スリッター、検査巻直機及び工業材料用特殊スリッターが、海外向けでは主に中国向け光学系特殊機及び電池系特殊スリッターが順調でした。一方、海外向け軟包装系汎用スリッターは、東南アジアを中心に戦略モデルが順調でしたが、中国向けは低調な動きとなりました。

押出関連機器は、食品容器用及び高機能樹脂用が順調でしたが、リサイクル関連機器は、慎重な設備投資姿勢の継続により低調な動きとなりました。

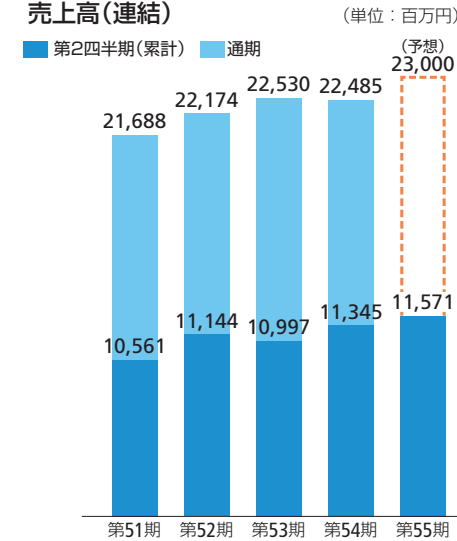
その結果、売上高28億50百万円（前年同四半期比18.9%増）、営業利益3億20百万円（前年同四半期比58.3%増）となりました。

株主の皆様には、引き続きご支援ご鞭撻をいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

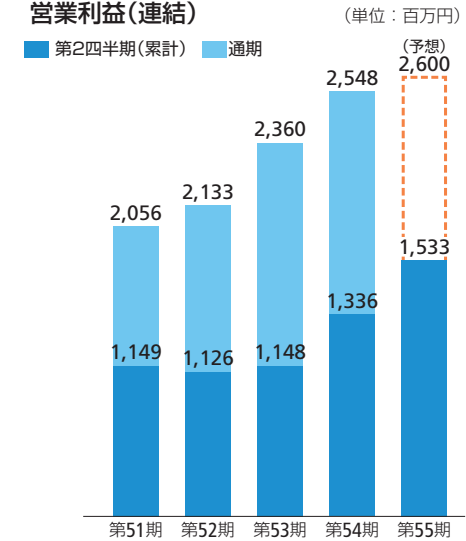


代表取締役社長 浅野和志

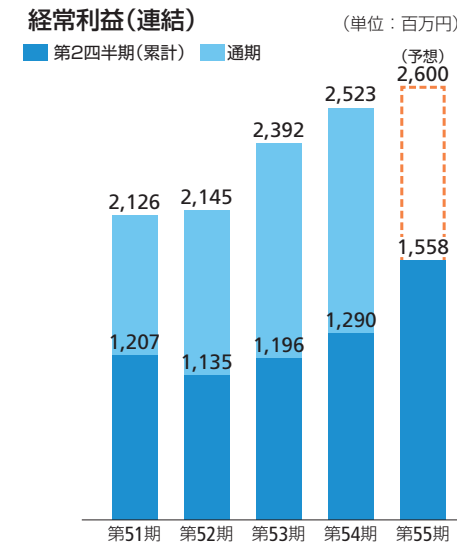
売上高(連結)



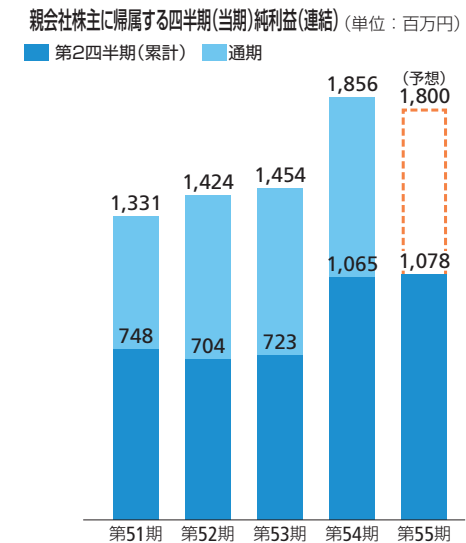
営業利益(連結)



経常利益(連結)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(連結)



平成29年10月期 第2四半期決算サマリー(連結)

■ 売上高
115億71百万円
前年同四半期比 **2.0** %増

■ 営業利益
15億33百万円
前年同四半期比 **14.8** %増

■ 経常利益
15億58百万円
前年同四半期比 **20.8** %増

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益
10億78百万円
前年同四半期比 **1.2** %増

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前第2四半期 平成28年4月30日現在	当第2四半期 平成29年4月30日現在	前期 平成28年10月31日現在		前第2四半期 平成28年4月30日現在	当第2四半期 平成29年4月30日現在	前期 平成28年10月31日現在
資産の部				負債の部			
Point ① 流動資産	15,940	17,180	15,785	Point ③ 流動負債	5,896	6,112	5,450
Point ② 固定資産	9,085	9,273	9,088	Point ③ 固定負債	1,404	1,355	1,474
有形固定資産	7,051	7,237	7,027	負債合計	7,301	7,468	6,924
無形固定資産	152	121	137	純資産の部			
投資その他の資産	1,882	1,914	1,923	株主資本	17,230	18,665	17,840
資産合計	25,026	26,453	24,874	資本金	1,778	1,778	1,778
				資本剰余金	1,393	1,393	1,393
				利益剰余金	14,454	15,890	15,064
				自己株式	△ 396	△ 396	△ 396
				その他の包括利益累計額	494	318	108
				その他有価証券評価差額金	17	29	22
				繰延ヘッジ損益	△ 35	△ 0	△ 2
				為替換算調整勘定	296	207	17
				退職給付に係る調整累計額	214	82	71
				非支配株主持分	1	1	1
				純資産合計	17,725	18,985	17,949
				負債純資産合計	25,026	26,453	24,874

Point ① 流動資産

流動資産は、現金及び預金が増加したこと等により前期末に比べて増加し、171億80百万円となりました。

Point ② 固定資産

有形固定資産が増加したこと等により前期末に比べて増加し、92億73百万円となりました。

Point ③ 流動負債、固定負債

流動負債は、その他流動負債が増加したこと等により前期末に比べて増加し、61億12百万円となりました。
固定負債は、長期借入金が増加したこと等により前期末に比べて減少し、13億55百万円となりました。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期(累計) 自平成27年11月1日 至平成28年4月30日	当第2四半期(累計) 自平成28年11月1日 至平成29年4月30日	前期 自平成27年11月1日 至平成28年10月31日
売上高	11,345	11,571	22,485
売上原価	8,173	8,043	16,182
売上総利益	3,171	3,527	6,303
販売費及び一般管理費	1,835	1,993	3,755
Point ④ 営業利益	1,336	1,533	2,548
営業外収益	41	65	89
営業外費用	87	40	114
Point ④ 経常利益	1,290	1,558	2,523
特別利益	322	12	322
特別損失	—	—	9
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,612	1,570	2,835
法人税等	546	491	979
四半期(当期)純利益	1,065	1,079	1,856
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	0	0	0
Point ④ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,065	1,078	1,856

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point ④ 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

継続的な新製品の市場投入に加え、戦略製品へ積極的に展開した結果、営業利益15億33百万円、経常利益15億58百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益10億78百万円となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期(累計) 自平成27年11月1日 至平成28年4月30日	当第2四半期(累計) 自平成28年11月1日 至平成29年4月30日	前期 自平成27年11月1日 至平成28年10月31日
Point ⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,243	1,099	3,904
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 586	△ 353	△ 1,320
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 462	△ 359	△ 739
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 21	22	△ 56
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	1,173	408	1,788
現金及び現金同等物の期首残高	3,134	4,923	3,134
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	4,308	5,331	4,923

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point ⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費等による資金の増加と売上債権の増加及び棚卸資産の増加等による資金の減少で、10億99百万円の資金の増加となりました。

合成樹脂加工製品事業

景観に調和する新製品「和みシート」

建築・工事や災害復旧の現場に使用されるブルーシート。お花見や花火大会などでは敷物としても活躍します。しかし、ここ最近では使用する場面によって周囲の景観に調和しづらいと言われてきています。そこで当社では、新たなブルーシート「和みシート」を開発しました。わずかに緑がかった明るい青（新橋色）をベースに開発した新色「HAGIHARAブルー」と、菱模様の織り柄、そして雰囲気の異なるリバーシブル構造が特徴で、青一色の従来品と違い、景観に調和し人々の心に「和み」を提供します。またデザイン面だけでなく、従来品に比べ3倍の耐候性と3割の軽量化を実現し、紐を通すハトメにはプラスチックを用いて廃棄時の分別を不要にするなど、高い機能性も誇ります。

輸入シート主体の激安市場と一線を画した独自のものづくりで、当社はこれからも市場に新たな価値を提供してまいります。



機械製品事業

国内外のシェア拡大へ

国内、海外（東南アジアや中国等）のスリッター市場は、日系メーカーやヨーロッパ・台湾を中心とする海外メーカーの台頭により、競争が激化しております。

当社は、このような状況を勝ち抜きシェアを拡大すべく、これまで以上に積極的な展示会出展を国内外で展開しております。市場・顧客ニーズの調査、新技術の紹介、新規顧客開拓や知名度向上を目的として、当期上期（平成28年11月～平成29年4月）では、既に国内2回（東京）、海外6回（中国2回、インドネシア、フィリピン、ドイツ、ベトナム）の計8回の出展を行いました。また、下期（平成29年5月～10月）においても、国内4回（東京、大阪）、海外2回（中国、タイ）の出展を計画しております。展示会毎に、市場や顧客ニーズに合った新機種・新技術を提案させていただき、来場された方から高い評価をいただいております。

今後も製販一体となり、シェア拡大を目指して国内外の市場に積極的に展開してまいります。



株式に関する事項

（平成29年4月30日現在）

発行可能株式総数	18,000,000株
発行済株式総数	7,448,800株
単元株式数	100株
株主数	2,771名

大株主（上位10名）

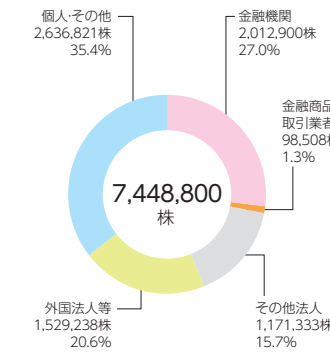
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
萩原株式会社	717	9.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	604	8.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	430	5.94
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	327	4.53
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	282	3.90
萩原邦章	263	3.63
萩原工業従業員持株会	217	3.00
日本ポリケム株式会社	200	2.76
萩原賦一	197	2.72
BNY FOR GCM CLIENT ACCOUNTS (E) BD	117	1.61

(注)1. 当社は自己株式215,178株を所有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

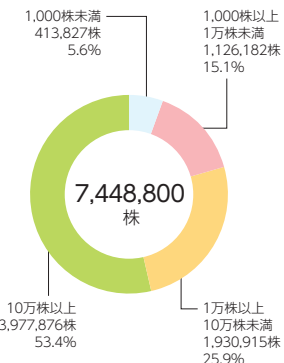
株式分布状況

（平成29年4月30日現在）

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



会社概要

（平成29年4月30日現在）

商号	萩原工業株式会社
本社	〒712-8502 岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地
	TEL.086-440-0860
	FAX.086-440-0869

設立 昭和37年（1962年）11月29日

資本金 17億78百万円

従業員数 438名

主な事業内容 ポリエチレン・ポリプロピレンを主原料とした合成樹脂繊維のフラットヤーンを用いた関連製品及びフラットヤーン技術を応用したスリッター等産業機械の製造・販売

役員

（平成29年4月30日現在）

【取締役】

代表取締役会長	萩原 邦章
代表取締役社長	社長執行役員 浅野 和志
取締役	専務執行役員 田中 稔一
取締役	執行役員 笹原 義博
取締役	執行役員 吉田 淳一
社外取締役	中原 裕二
社外取締役	秋草 史幸

【監査役】

常勤監査役	吉川 龍男
監査役	石井 辰彦
監査役	三宅 孝治

【執行役員】

執行役員	浅野 幾弘
執行役員	飯山 辰彦
執行役員	松浦 正幸
執行役員	藤田 学
執行役員	國定 佳孝